

# 舞台上の主演は農家 た!!が家

農家が農業体験を指導する「教育ファーム」が全国に広がっています。農家の言葉に価値があり、農ある暮らしが求められています。**\*春です。みなさん、今が語り始める時です。**

## 北海道エリア



北海道旭川市  
稲作農家  
古屋 勝さん

四半世紀わたって交流した消費者は数万人。大規模な専業地帯ながら「少量多品目で、より消費者に寄り添った経営」を目指す。

交流農業

## 東北エリア



秋田県横手市  
JA秋田ふるさと青年部部長  
筈谷 亨さん

往復約1200\*、20時間かけ神奈川県の小学校に稲作の出前授業。ご飯好きなお子様を増やし、組織の活性化にもつなげている。

出前授業

## 関東エリア



埼玉県入間市  
ぼくらの農園園主  
岩田 浩さん

新規就農してとりかかったのは農家が指導する体験農園。地方出身者が多い都市部で、人をつなぐコミュニティも担う。

都市型農園

## 甲信越エリア



長野県安曇野市  
バジルクラブ代表  
鈴木 達也さん

水稻のアイガモ農法に、トマトとバジルなど異なる作物を一度に植えて農薬などを減らす混植。命を原点に、自然とより共存した農業を見せる。

環境保全型

## 中国・四国エリア



島根県津和野町  
京村牧場  
京村 まゆみさん

過疎・高齢化が進む山間部だが、「わさび栽培ができる豊かな自然、地域農業は財産」。農業体験で魅力を発信し、人を呼び込みたい。

中山間農業

## 東海エリア



愛知県美浜町  
季の野の台所代表  
森川 美保さん

育てたニワトリを参加者全員で、羽をむしり、解体するなど調理して食べた。伝えたかったのは食が他の命にささげられていること。

自給交流

## 近畿・北陸エリア



兵庫県小野市  
特定非営利活動法人「ぶらっときすみの」代表  
浅田 光好さん

平均年齢64歳の営農集団が子どもたちと地域を見つめ直した。見えてきたのは、多くの生き物が共存し、残すべきふさと。

集落営農

## 九州・沖縄エリア



宮崎県えびの市  
JAえびの市青年部部長  
鬼川 直也さん

管理栄養士や栄養教諭の卵である地元の学生たちと「食と農をキビリ(むすび)隊」を結成。目指すのは国産農畜産物と国民を結ぶこと。

異業種連携



# 教育ファーム 農家列伝

### 教育ファームとは・・・自然を介した対話交流

教育ファームは、生産者(農林漁家)の指導のもと作物を育てるところから食べるところまで、一貫した「本物」の農林漁業体験の機会を提供する取り組みです。体験を通して、自然の力やそれを生かす生産者の知恵や工夫を学び、食べ物の大切さを実感を持って知ってもらうことが目的です。いま、「まち」に「むら」に広がる教育ファーム。地

産地消、食文化の継承、自給率の向上など「食育」の効果に加え、遊休地活用や都市型体験農園、販路拡大といった新しい農業ビジョンを見出すことで、農家が輝き始めています。キーワードは「いのち」。いのちを育て、いただき、つなぐ。消費者と「結び合い」ながら、地域を元気にする教育ファームに取り組んでみませんか。